

放課後子供教室推進事業実践事例

放課後子供教室推進事業 (H19～生涯学習課)

地域学校協働活動の一環として、多くの地域住民の方々の参画を得て、学習支援や地域の特色を生かした体験活動が行われており、子供たちの安心・安全な居場所となっています。
令和元年度は、本事業を活用し、県内14市町村67教室で実施されました。



地域の史跡を巡る体験活動（三股町）

このような声が聞かれます・・・



子供たちから

- ・みんなで一緒に遊べて楽しい。
- ・先生たちが面白くて、優しくて、いろいろ教えてくれる。
- ・宿題に集中できてはかどる。

ボランティアから



- ・子どもたちの成長が分かる。
- ・子供の安全を第一に考えている。
- ・子供の笑顔と元気が活力になる。



保護者から

- ・子供を安心して預けられる。
- ・コミュニケーション能力が育まれる。
- ・地域の方と接する機会が増えた。
- ・異学年の子供と交流できる。
- ・様々な体験・学びがある。

地域住民や大学生・企業OBなど様々な人材の協力を得て、放課後等に全ての子供を対象とした学習支援や多様なプログラムを実施

放課後子供教室

全ての子供たちに対して、学校の余裕教室、体育館、公民館等を活用して様々な取組を実施

地域学校協働活動推進員 (コーディネーター)

(取組の企画、担い手確保、全体調整)



連携・協力

協働活動支援員 協働活動サポーター

(学習支援や多様なプログラムの実施、安全管理)

「放課後子ども総合プラン」
として、連携して実施

学校



- ・余裕教室等を提供
- ・子供の放課後や学校での様子などについて、日常的、定期的に情報共有

放課後児童クラブ

放課後児童クラブに参加している子供が放課後子供教室の取組に参加

【取組の例】

- 学習支援
(宿題の指導、読み聞かせ)
- 体験活動
(工作、実験、料理教室、スポーツ、文化活動等)
- 交流活動
(自由遊び、昔遊び、地域行事への参加等)



参画

地域住民や大学生、企業OB、民間教育事業者、文化・芸術団体等の様々な人材